

KYOEI NEWS



〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目15番7号
 TEL(06)-6535-7511 FAX(06)-6535-7517
 e-mail osaka@kyoeisystem.co.jp
 URL http://www.kyoeisystem.co.jp

【運送会社の経営情報】 …………… 運送会社の生産性向上

運送業界の大きな課題は、乗務員人材の不足です。若手人材の採用が、おぼつかなく、トラック運転者の高齢化は進む一方です。特に大型トラック運転者についてはより深刻な問題となっています。長距離輸送がメインのX県下のA社においても55歳以上の高齢乗務員が全体の70%以上を占めています。

原因として挙げられるのが長時間労働と低賃金です。長時間労働を是正し、賃金水準を上げるためには生産性を上げる必要があります。全日本トラック協会においても会員事業者の生産性向上について具体的な取組みを支援しています。同協会発行の広報紙によりますと生産性向上のための具体的な取組み対策として下記事項を掲げています。

- ・パレットの出荷施設内だけの利用でなく、流通全体を通しての利用促進
- ・荷主の理解を得ての高速道路の有効利用
- ・長距離輸送における中継輸送システムの導入
- ・デジタルタコグラフの導入と有効活用
- ・運送契約内容の書面化、記録化の推進
- ・綿密な原価計算による適正運賃の收受



上記以外にも、生産性向上に直結する運送コスト削減のための対策としては車両の稼働率(実車率、回転率、積載率)の向上が挙げられます。しかし上記何れの対策に取り組むにしても取り組みを实のものにするためには、現状の問題点を具体的に数値化することが重要です。改善のためのゴール指針となるKPI(目標達成度を測定するための主要経営指標)が設定できていなければ取り組みの効果検証ができません。

A社においても、納品先での付帯作業や待ち時間が長時間労働の原因となっていました。しかし、日々及び1か月間で待ち時間がどの程度発生しているのか、納品先での作業が運送契約に記載されている内容に基づくものかといった点に関しては、明確な資料はありませんでした。これでは生産性の向上は望むべくはありません。

配送先での不要な待ち時間、作業時間の短縮を目指すならば、これらの時間について日々の正確な記録が必要です。さらに1か月間、1年間の合計時間を算出した上で、顧客の協力の下、「〇〇%の削減が可能か」を検討し、具体的な削減目標を設定します。この設定値がKPIです。KPIは、日々の努力の実績を計るバロメーターとなります。



また、実施に当たっては従業員目線での視点も必要です。労働密度だけが高まり、その成果が従業員にも十分に反映されなければ対策の継続性に疑問が付きまします。

現在、政府主導の下、政策として残業時間の削減が進められていますが、ある民間機関の試算によれば、その結果給料から5兆6000億円の残業代が目減りするとのこと。特に運送業界においては、賃金の多寡は労働時間の長さと直結している場合が少なくありません。取り組みの推進のためには、労働時間が軽減されても賃金が減らない仕組みづくりが同時に求められます。

※本内容を無断で転載することを禁じます。